

公募審査（採択）結果の公表

経済産業省 製造産業局 自動車課、素材産業課、産業機械課 商務情報政策局 情報産業課、電池産業課

事業名：令和8年度「情報処理・サービス・製造産業事業費補助金（重要鉱物に係るサプライチェーン強化事業）」

(採択事業者)

事業者名	法人番号	提案価格
アデコ株式会社	8010401001563	4,960,000,000

(提案事業者名)

- ①アデコ株式会社
②バシフィックコンサルタンツ株式会社
③株式会社JTB

※提案事業者名と下記にある事業者名の順番は対応していない

(審査委員属性)

金融機関職員
大学教授
独立行政法人職員

※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

(採点結果)

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
アデコ株式会社	35	34	49	118
事業者A	42	32	40	114
事業者B	36	30	48	114

提案事業者名	提案書の記載内容	事業の実施方法、実施スケジュールが現実的か。	実施方法等について成果を高めるための効果的な工夫が見られるか	事業の関連分野に関する知見を有しているか。	本事業を円滑に遂行するために、事業規模等に適した実施体制をとっているか。	コストパフォーマンスが優れているか。また、適正な積算が行われているか。	ワーク・ライフ・バランス、賃上げ等推進企業であるか。	合計
アデコ株式会社	適	46	12	10	11	35	4	118
事業者A	適	43	10	10	10	35	6	114
事業者B	適	47	12	9	10	30	6	114

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
アデコ株式会社	当該補助事業の事務局運営を安定的に遂行し得る体力を備えている点、業務の内製度が高く、コスト構造や外注比率の面で制度趣旨に適合している点、当該分野への理解と経験が評価できる。
事業者A	基礎的な執行体制は十分であるが、専門性の補完策の具体性に欠け、他社と比較して評価はやや劣っている。
事業者B	自社の規模・汎用BPO能力に依拠する色彩が強く、コストパフォーマンスや、本事業の成果を最大化するための独自の工夫（重要鉱物分野ならではの評価枠組み・パートナー連携など）が十分に示されているとは言えず改善の余地が見られる。